

# 未来の自分に近づこう！

日時：9月6日（火）第5校時

学年・学級：2年1組（40名）

指導者：高本 希美

育成をめざす資質・能力：「課題発見・解決力」・「思考力・判断力・表現力」・「主体性」・「自己理解」

## 1 単元について

### 地域や学校の特色と教師の願い

本校では例年、総合的な学習の時間において地域人材を活用し、「防災学習」を中心に取り組んでいる。2学年では、防災学習に加え、「勤労」や「職業」について学習を行う。

本単元では、「勤労」をテーマに「自己の将来や生き方」について扱う。

まずは、自分たちの住んでいる三原市にある企業について調べ、どのような企業・仕事があるのか、その仕事は社会の中でどのような働きをしているのか、求められる人材や能力はどのようなものかを知る。その知識をもとに各自が「勤労」というテーマをもとに課題を設定する。この課題を解決していくために必要な知識や情報を収集し、その蓄積した情報を他者と共有したり整理したりする。

次に、それらの情報から考えたこと・気付いたことをまとめ、他者へ伝える等、表現活動を行う。

これらの活動を通して、勤労観・職業観を磨き、生き方を追究する。また、本単元の学習を通して、進路を主体的に選択する力を育成することへとつなげたい。

### 生徒の実態

本学級の生徒は、令和4年度児童生徒学習意識調査によると、「進んで資料集めや取材をする」という項目では、肯定的な回答が26.0%であった。これまでの総合的な学習の時間において、インターネットや書籍等から情報を得る機会は多々あったが、生徒が「取材」という方法で情報を収集する機会が少なかったことからこのような結果が出たと推測される。また、「授業で体験活動をしている」という項目に関しては、肯定的な回答が33.4%であった。コロナ禍の影響もあり、生徒が学校外へ出て体験をする機会が減っているのは明確である。例年、実施されていた職場体験学習も中止が決定しており、生徒が体験を通して「働く意義」等を自分自身で感じとるという経験ができないのは残念である。「将来の夢や目標がある」という質問項目では、肯定的な回答が63.6%であった。「将来の夢や目標はかなう」という項目は肯定的な回答が56.2%であった。これらの回答から、将来の夢や目標を抱いたり、その夢や目標がかなうと思えたりするような経験や学習が希薄であると言える。

### 学習の題材

本題材では、「勤労」をテーマに「自分は将来、どんな人生を送りたいか」という命題を基に、ICT機器を活用して必要な情報を収集し、実際に三原市で働いている方々に取材して情報を得る学習をする。また、得た情報を整理して自分の考えを表現する学習を展開する。中でも、「スライドによる発表」の活動を効果的に仕組むことで、生徒が相手（生徒や家族、地域の人）を意識しながら、主体的に学習を進めていくことが期待できる。学習対象は「三原で働く人たち」であり、これを一人一人の疑問・関心とつなげて、個人課題を設定させる。さらに、本単元は次の「インターン」の単元と深いつながりがあり、生徒が「勤労」について様々な地域や業種の人から情報を得ることができる機会が設定されている。次の単元では、今回の単元も含めて、学んだことや得た情報から考えたことを、オンラインを活用して他県の生徒と交流する実践を行う。学んだことを他者に伝えるという活動を通して、探究したことを振り返ったり、より深めたりすること等が期待できる。

### 単元の目標

企業調べや取材を通して生じた関心や疑問を探究することで、職業や自分に対する理解を深め、自己の将来の生き方を考える。

## 2 問いとカリキュラム・マネジメント

### ○本質的な問い

自分は将来、どんな人生を送りたいか

### ○単元を貫く問い



総合的な学習の時間  
◎人はなぜ働くのか

### (3) 学習ツールの活用

#### ○ICT 機器

個人での情報収集において、検索機能やドキュメント、整理・分析の場面でジャムボードやドキュメント、まとめ・表現の場面でスライド等の機能を使用する。

#### ○思考ツール

課題発見の場面でイメージマップ、情報や意見を比較・分類・整理する場面でピラミッドチャート等、必要に応じて効果的に活用する。

## 3 単元の評価基準（ルーブリック）

知識・技能及び 資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
思考力, 判断力, 表現力等	【課題発見・ 解決力】	問いや答えを見付けたり、問いを更新したりする中で、探究し、答えを追究しようとしている。	多くの情報を精査し、問いや答えを見付けたり、問いを更新したりする中で、探究し、答えを追究している。
	【思考力・判断力・表現力】	発見した課題について追究し、相手に伝わるように自分の考えを表現しようとしている。	発見した課題について追究し、相手に伝わるように自分の考えと根拠を表現している。
学びに向かう力, 人間性等	【主体性】	自分で課題を見つけ、目的に合うよりよい方法を選択し、課題解決までの過程を明確にイメージしながら、社会と関わり課題解決をしようとしている。	多くの情報を精査し、自分で課題を見つけ、目的に合うよりよい方法を選択し、課題解決までの過程を明確にイメージしながら、社会と関わり課題解決している。
	【自己理解】	自己の感情や行動を統制するなど、よりよい生活や人間関係を築こうとしている。	見通しをもって学習に取り組み、自己の感情や行動を統制するなど、よりよい生活や人間関係を築いている。

4 指導計画 (全時間 本時 16/24)

	探究の過程 資質・能力	学習活動 (時数)	評価方法
テーマ決定・課題の設定・探究	情報の収集 主	○ジャムボードを活用し、勤労に関するイメージを出し合い、勤労に関して発想を広げる。調べたい企業をグループごとに決める。(3)	・ジャムボード
	課題の設定	○全体の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">探究課題：自分は将来、どんな人生を送りたいのだろうか</div>	
	情報の収集 整理・分析	○企業について、本やインターネットで調べ、分かったこと・考えたことを整理する。(7)	・スライド
	まとめ・表現 思 表	○企業調べをして得た情報や考えたことなどを発表・共有する。(2)	
探究・活動のまとめ	課題の設定 主 思	○自分の将来を考える上で、探究していきたい課題を考える。その課題を解決するために必要な情報は何かを考える。実際に取材したい企業を選択する。(3)	・行動観察
	情報の収集 整理・分析 主 思	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">○自分の設定した探究課題を解決するために必要な情報を考え、その情報を得るための質問を精選する。【本時】(1)</div> ○三原市で働いている方々から、勤労観や職業観等について講義を受け、前時で精選した質問をする。(1)	・ジャムボード
探究・活動のまとめ	まとめ・表現 主 思 表	○今までの取組をグループでスライドにまとめ、自分たちが学んだことや考えたことについて交流し、感想を伝え合う。(文化祭)(6)	・行動観察
活動のまとめ・評価・課題の設定	課題の設定 主 思 課題発見	○企業調べや「企業に学ぶ会」で得た情報をもとに、自分が将来、どんな人生を送りたいのかを再度、まとめる。生き方を考える上でこれから必要な情報や体験は何か、さらに探究すべき課題をつかむ。(1)	・ワークシート

5 本時の学習

(1) 本時の目標

自分の探究課題に沿った質問を精査することができる。

(2) 本時の評価規準

問いや答えを見つけたり、問いを更新したりする中で、探究し、答えを追究しようとしている。

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ☆評価
課題の設定 5分	<p><b>1 今までの学習を想起する。</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の経営理念や求めている人材・具体的な取組などについて調べた。</li> <li>・企業が商品やサービスを通して社会にどのように貢献しているのか学んだ。</li> </ul> </div>	<p>○1学期の総合的な学習の時間で取り組んだ学習内容を想起できるよう視覚的な資料を提示する。</p>
	<p>自分の設定した探究課題に沿った質問を精選しよう。</p>	
整理・分析 10分	<p><b>2 探究の過程、本単元で育成をめざす資質・能力を確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題発見・解決力</li> </ul>	<p>○本時の課題を確認した上で、探究の過程と主に育成をめざす資質・能力を確認する。</p>
	<p><b>3 質問を「精選」する意義と方法について確認する。</b></p> <p>○質問する時間は5分程度しかなく、限られた時間の中で質問する必要があるということを確認する。</p> <p>○「企業に学ぶ会」を通して「何を」目的に、「どんな内容」について質問するのかを考える。</p> <p>(例)・「人は何のために働いているのかを知るため」に、「仕事のやりがい」について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の人生設計の参考にするため」に「なぜその職業を選んだのか」を聞く。</li> <li>・「自分の夢を見つけるきっかけを作るため」に、「中学生の頃、どんな夢をもっていたか」を聞く。</li> </ul> <p>○ピラミッドチャートを活用して可視化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの階層にどのような観点で整理していくのか確認する。</li> <li>・前時のイメージマップを参考にしながら、下から上に考える。</li> <li>・一番下の階層には、「インターネットなどで調べたら分かりそうなこと」を書く。</li> <li>・二番目の階層には、「身近な大人や友達に聞けば分かりそうなこと」を書く。</li> <li>・一番上の階層には、「その企業で働いている人にしか分からないこと・自分の探究課題を解決することができそうな質問」を書く。</li> </ul>	<p>○「精選」とは、「多くの中からとくによいものをえらび出すこと」であり、思いついた多くの質問の中から、何を「目的」にどのような質問をするのかを考えさせる。</p> <p>○考える際の型を提示する。</p> <p>○考えを可視化し整理するために、ピラミッドチャートを活用して考えをまとめさせる。</p> <p>○考えが思い浮かばない生徒には、今までに作成したスライド等を参考にさせる。</p>

<p>整理・分析</p> <p>15分</p>	<p><b>4 個人が考えた質問を出し合い、班で検討する。</b></p> <p>○それぞれが考えた質問の中で、精選したものを出し合い、妥当性について検討する。</p> <p>○聞く価値のある質問かどうか検討する。検討する際の基準は「自分たちの探究課題」に合っているかどうか、何のためにその質問をするのか、その質問で得た答えで何が学べるのかを意識して話し合う。</p> <p>《予想される生徒の反応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんな商品を作っていますか」という質問は、HPを見るとわかるから、わざわざ質問する必要はないのでは。この質問は、設定した探究課題とどのような関わりがあるの？</li> <li>・いろんな質問を前置きもなくいきなり質問するよりも、なぜその質問をするのか、背景や思いを伝えてから質問したほうが、自分が知りたい情報を確実に得ることができるのではないかな。</li> <li>・「仕事をしていて辛いことや悩みはありますか」という質問は、相手は答えづらいかもしれないので、なぜその質問をするのか、その質問によって何を知りたいのかを明確にしてから質問したほうがいいのではないかな。</li> </ul>	<p>○机間指導の際に、検討する際の基準を確認し、その「質問」と自分の設定した探究課題と関わりがあるかを考えさせる。</p>
<p>整理・分析</p> <p>15分</p>	<p><b>5 班で出た質問について学級で交流・検討する。</b></p> <p>班で考えた質問を交流しよう。</p> <p>○いくつかの班の質問を取り上げ、設定した探究課題に合っているか、考える際の型に沿って検討する。</p> <p>「企業に学ぶ会」を通して「何を」目的に、「どんな内容」について質問するのかを考える。</p>	<p>☆問いや答えを見付けたり、問いを更新したりする中で、探究し、答えを追究しようとしている。 (観察、ジャムボード)</p>
<p>まとめ・表現</p> <p>5分</p>	<p><b>6 本時の活動について振り返る。</b></p> <p>今日の振り返りを書きましょう。</p> <p>《予想される生徒の反応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にはまだ夢や具体的な目標が見つかっていないので、企業で働いている人が中学生の頃、どんな夢や目標をもっていたのかを聞いて参考にしたいなと思いました。</li> <li>・今は「働く」ということに対してあまり意欲がないけれど、「仕事のやりがい」を聞くことで「働く」ということに関してイメージが変わるかもしれないので聞いてみたい。</li> <li>・自分に合った仕事の見つけ方を聞いて、将来の進路選択や職業選択に生かしたい。</li> </ul>	<p>☆自分で課題を見付け、目的に合うよりよい方法を選択し、課題解決までの過程を明確にイメージしながら、社会と関わり課題解決をしようとしている。 (ワークシート・行動観察)</p> <p>○振り返りに記入させることで、本時の学習や資質・能力について、身に付いた力を自覚させる。</p>

(4) 板書計画

自分の設定した探究課題に沿った質問を精選しよう！

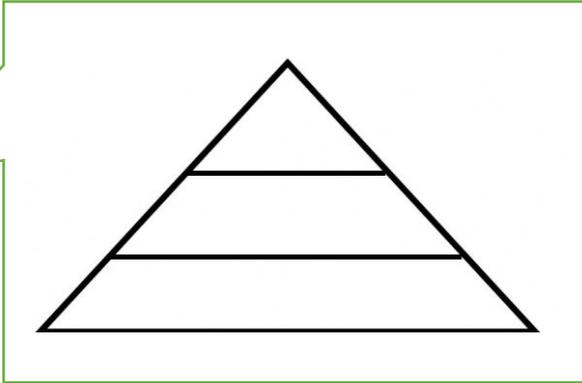
～自分は将来、どんな人生を送りたいか～

主体性 思考・判断力 課題発見

- 「企業に学ぶ会」を通して「何を」目的に、「どんな内容」について質問するの考えよう。



大型テレビ  
生徒のジャムボードを掲示  
(思考ツール「ピラミッドチャート」の活用)



(5) 参考

単元の始めに生徒から出た「働く」ことへのイメージ

プロのスポーツ選手	お金	やりきったときの達成感	辛い	コミュニケーションできない	責任感	上司との付き合いが辛い	暇つぶし
親	ストレス	バイト	自立	ヤケクソ	大変だるい	上下関係	幸せ
自分のため	苦しい	就職	面接	公務員	社長	夢	パワーハラ
人間関係	やりがい	産業	めんどくさい	社会の一員	出会い	パワーセクハラ	家族のため
人のために	勉強をしない人はいい会社に行けないんだよ	飲み会	金儲け	楽しそう	働きたい	楽しい	疲労 頭痛

子供相手しんどい	経済	給料日 ← 幸せ	不安	責任	安眠できない	働きたくないでござる ☆	ホワイト企業	ホワイト企業 ≠ 学校
政治	増税	景気	専業主婦楽そう	一流	破産	ブラック企業	福利厚生	企業 ≠ 学校
所得税	☆ 帰りたい ☆	時間が ない	リストラ	結婚	チームワーク	ブラック企業と知ったときの絶望感	交通費支給	
寿退社	子供心配	働いたら負けかなと思ってる	友達	納税	Youtuber になりたいなあああ	玉の輿	楽しい?	
定時で帰れない	過労	疲れて血管切れる	過労死	休日寝てる	Youtuber になりたいなあああ	働くのは悪	ボロクソ	学校 = ブラック企業

(6) ワークシート

## 未来の自分に近づこう！

組 番 氏 名

～人はなぜ働くのか～

本時の目標：自分の設定した探究課題に沿った質問を精進することができる。

【探究課題】 1

○「企業に学ぶ会」を通して、「何を」目的に、「どんな内容」について質問するのが考えよう。

「何を」目的に、

→

「どんな内容」について、  
質問するか、

振り返り：

